

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況（業績、事業運営等の概況）

（財務面）

売上面では、27億9900万円となり前年同期比98.5%、計画比90.3%でした。これはCMO事業部の前年同期比の売上が減少したことによるものです。

収益面は新規大型受託案件に伴う人件費及び一般管理費に増加があり、前年同期比1億6700万円減少の-2億7900万円となりました。

（事業運営面）

2015年度事業計画にある「顆粒ラインの量産立ち上げを加え、CMO事業における日本国内トップランク企業を目指す」ため、具体化した施策、戦術を実行して目標達成に向け推進しています。

○ 課題への取組み

上記事業運営に取り組みながら、「配置事業の業態改革、新たなビジネスモデル構築に、強い指導力と推進力を持って臨む」「海外事業を拡大・推進するために若手の登用・海外人財を発掘し、東邦ホールディングスとの包括的な協業の第一歩を成功させる」という課題を掲げ、様々な施策を推し進めてまいります。

○ トピックス、適時情報

1.6月22日開催の第101回定時株主総会、その後の取締役会及び7月3日開催の臨時取締役会を経、取締役・監査役の陣容は下記の通りとなりました。

代表取締役会長 兼 社長(最高経営責任者) : 塩井 保彦

取締役 : 中尾 哲雄、小沢 伊弘、新田 八朗、阿部 武夫、済木 育夫

監査役 : 竹内 二三雄、佐伯 康博、崎谷 幸生、桶屋 泰三

2.『日経ヘルス 5月号』の『めざせ！春肌美人』企画ページにおいて透白美人enrichが掲載されました。

3.ガイドブック『富山のおいしい手みやげ』にて透白美人enrichを掲載されました。

4.広貫堂カフェ2号店『癒楽甘 春々堂 イオンモール高岡店』をオープンし『Takt 6月号』に掲載されました。

5.山田特産加工組合との共同事業「健菜堂」がエゴマ油(EBA OIL)を発売しました。

6.東日本大震災の震災遺児・孤児支援のため、岩手、宮城、福島の3県に義援金計300万円を寄付しました。

○ 業績の概況（広貫堂・単体）(第1四半期、平成27年4月～平成27年6月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	2,873,889	2,644,706	2,842,438	2,799,732
経常利益	39,988	21,501	-111,534	-279,136

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、36億600万円となり前年同期比105.6%でした。これはCMO事業部の前年同期比の売上減少があったものの、薬都広貫堂、広貫堂薬品販売、日本薬剤の売上が増加したためであります。

連結経常利益は、-3億300万円となり前年同期比 1億3900万円の減少でした。グループ会社の経常利益は前年同期比で増加しましたが、広貫堂の経常利益が 1億6700万円の減少したことによるものです。

今後も2015年度事業計画に沿って進める一方、売上高及び経常利益の目標達成のために、各グループ会社の課題解決と経費削減に一層努めてまいります。

○ 業績の概況(広貫堂グループ・連結)(第1四半期、平成27年4月～平成27年6月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	3,499,779	3,316,588	3,413,459	3,606,056
経常利益	-23,238	9,948	-164,421	-303,611

平成27年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

虔脩本方六神丸S、熊膽円S等の既存配置製品および100mLドリンク剤の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比100.8%の6億8400万円となりましたが、経常利益はマイナスで第1四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげまいります。

○ トピックス、適時情報

1. 6月19日に第9回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。

代表取締役社長 梶太朗 取締役 劍田義徳 取締役 林庸平 監査役 但中秀隆

2. 第1四半期において、下記の製品を発売いたしました。

・富山胃散【第2類医薬品】 ・ヒアルロンケアα【健康食品】

○ 業績の概況 (第1四半期、平成27年4月～平成27年6月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	877,553	721,098	633,533	684,253
経常利益	-19,568	-20,043	-15,163	-8,294

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクの販売増や清涼飲料水など新製品の販売が寄与し、前年同期比113.7%の13億9300万円となりました。 経常利益は前年同期比211.2%の2400万円となりました。

(事業運営面)

今年度の経営目標である「人財：ゼロからの営業活動」、「創造：処方箋薬局を視野に一般用医薬品の開発」、「利益：高利益な商品の開発」を推進していきます。

○ トピックス、適時情報

1. 6月12日に第55回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役4名、監査役1名が選任されました。

代表取締役社長 宇多雅美 取締役 劍田義徳 取締役 林庸平 取締役 江野本加寿雄
監査役 但中秀隆

2. 新発売(4～6月)

医薬部外品 100mLドリンク 2アイテム
医薬品 葛根湯内服液45mLタイプ 1アイテム
食品 500mL清涼飲料水 1アイテム

○ 業績の概況 (第1四半期、平成27年4月～平成27年6月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	1,143,140	1,175,010	1,225,115	1,392,671
経常利益	36,630	32,048	11,559	24,413

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第1四半期(4月～6月)では売上高前年同期4億3800万円に対し4億5900万円、前年同期比104.7%となりました。利益面では前年同期-4700万円に対し-1400万円にて推移しました。

売上面での増加の要因は、①昨年度4月の消費増税による低迷にて+1200万円、②5月よりの希釈飲料キャンペーンにて+800万円となっております。また利益面では売上高の増加による売上総利益の増加+1100万円、また経費面の減少により-2300万円となりました。

(事業運営面)

組織運用の強化を念頭に全国21営業所を7エリアに分け各地区にエリア長を置き、社長直下に経営企画室を設け営業施策や進捗の管理を行っています。また、配置販売業の業態改革の一環としてJA氷見、小矢部、あるいは大阪の(株)プレスとの協業を推進しました。

○ トピックス、適時情報

- 希釈飲料キャンペーンに合わせて新規取扱商品として「てつのこまち」の販売を開始しました。夏場の熱中症対策、女性の貧血などにターゲットを合わせたもので第1四半期で3,500本を販売しました。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成27年4月～平成27年6月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	493,984	519,990	438,838	459,308
経常利益	-54,277	-22,687	-47,213	-14,348

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比98.3%予算計画比101.1%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比82.5%となりました。経常利益は、△4万円の計画に対して390万円の黒字となりました。

(事業運営面)

水剤文化の構築に向けて2月～5月サンリキソZ II 及びサンリキソライトを重点置き込み期間とし愛用者つくりを行いました。

○ トピックス、適時情報

- 平成27年4月に26年度総括及び27年度指針説明会が開催されました。
- 平成27年5月21日10:00よりトキワ広貫堂株式会社第1回取締役会が開催されました。
- 第11回定時株主総会が6月19日開催され、取締役3名が選任されそれぞれ就任致しました。その後の取締役会で代表取締役社長に平井裕が選任され就任致しました。取締役の陣容は、代表取締役 平井裕、取締役 銀田義徳、取締役 大野雅幸

○ 業績の概況 (第1四半期、平成27年4月～平成27年6月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	64,598	63,798	61,125	60,100
経常利益	-1,194	-783	-750	3,905